

平成21年3月期 第1四半期決算短信

平成20年8月12日

上場取引所 名

上場会社名 美濃窯業株式会社

コード番号 5356 URL <http://www.mino-ceramic.co.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 太田 滋俊

問合せ先責任者 (役職名) 取締役・執行役員管理部門管掌兼 総務部長 (氏名) 中尾 晴一郎

TEL 052-551-9221

四半期報告書提出予定日 平成20年8月12日

(百万円未満切捨て)

1. 平成21年3月期第1四半期の連結業績(平成20年4月1日～平成20年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
21年3月期第1四半期	2,141	—	81	—	95	—	13	—
20年3月期第1四半期	2,106	△1.9	35	△73.6	47	△71.8	22	△71.4

	1株当たり四半期純利益		潜在株式調整後1株当たり四半期純利益	
	円	銭	円	銭
21年3月期第1四半期	1.30	—	—	—
20年3月期第1四半期	2.25	—	—	—

(2) 連結財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率		1株当たり純資産	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円	銭
21年3月期第1四半期	11,609	—	6,382	—	51.0	—	580.74	—
20年3月期	11,599	—	6,321	—	50.8	—	579.10	—

(参考) 自己資本 21年3月期第1四半期 5,922百万円 20年3月期 5,888百万円

2. 配当の状況

(基準日)	1株当たり配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	年間
20年3月期	—	4.00	—	4.00	8.00
21年3月期	—	—	—	—	—
21年3月期(予想)	—	4.00	—	4.00	8.00

(注)配当予想の当四半期における修正の有無 無

3. 平成21年3月期の連結業績予想(平成20年4月1日～平成21年3月31日)

(%表示は通期は対前期、第2四半期連結累計期間は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円
第2四半期連結累計期間	4,500	4.5	160	14.0	160	8.1	70	23.6	6.88
通期	10,000	0.1	370	1.0	380	0.6	180	4.4	17.70

(注)連結業績予想数値の当四半期における修正の有無 無

4. その他

(1) 期中における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) 無

新規 — 社(社名)) 除外 — 社(社名))

(2) 簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 有

(注)詳細は、2ページ【定性的情報・財務諸表等】4.その他をご覧ください。

(3) 四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更(四半期連結財務諸表作成のための基本となる重要な事項等の変更に記載されるもの)

① 会計基準等の改正に伴う変更 有

② ①以外の変更 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む) 21年3月期第1四半期 12,909,828株 20年3月期 12,909,828株

② 期末自己株式数 21年3月期第1四半期 2,711,680株 20年3月期 2,742,025株

③ 期中平均株式数(四半期連結累計期間) 21年3月期第1四半期 10,167,658株 20年3月期第1四半期 10,099,415株

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

・当連結会計年度より「四半期財務諸表に関する会計基準」(企業会計基準第12号)及び「四半期財務諸表に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第14号)を適用しております。また、「四半期連結財務諸表規則」に従い四半期連結財務諸表を作成しております。

・上記に記載した予想数値は、現時点で入手可能な情報に基づき判断した見通しであり、多分に不確定な要素を含んでおります。実際の実績等は、業績の変化等により、上記予想数値と異なる場合があります。

【定性的情報・財務諸表等】

1. 連結経営成績に関する定性的情報

当第1四半期の日本経済は、米国のサブプライムローン問題に端を発する世界的な金融資本市場の混乱、また原油および原材料価格の急激な上昇により、企業の収益環境は転換期を迎え、個人消費や企業の設備投資の減退も懸念される不透明な環境となる中で推移しました。

このような状況下、当社グループの第1四半期は、耐火物事業においては生産に不可欠である重油価格の上昇はとどまる気配を見せず、また原料についても主要供給国である中国の輸出統制、大幅な価格高騰に見舞われました。プラント事業、建材及び舗装用材事業においても調達資材価格の上昇の影響を受け非常に厳しい環境が続きました。こうした厳しい状況に対処すべく、当社グループはより一層のコストダウンを図るとともに、販売価格改定にも努力し、未だコスト増を吸収するにはほど遠いものがありますが、一部改定を実現してまいりました。

以上の結果、当第1四半期の業績は、売上高は2,141百万円、営業利益は81百万円、経常利益は95百万円となりました。また当第1四半期連結会計期間より「棚卸資産の評価に関する会計基準」を適用したことにより、特別損失としてたな卸資産評価損を55百万円計上したこともあり、四半期純利益は13百万円となりました。

2. 連結財政状態に関する定性的情報

第1四半期末における総資産は、前連結会計年度末に比べ9百万円増加いたしました。主な要因は、仕掛品が173百万円、原材料が52百万円、製品が38百万円、投資有価証券が120百万円増加し、現金及び預金が402百万円減少しましたこと等によるものであります。

純資産の部は、6,382百万円となり前連結会計年度末に比べて60百万円増加となりましたが、その主な原因はその他有価証券評価差額金が52百万円増加したことによります。

3. 連結業績予想に関する定性的情報

当第1四半期は、おおむね当初の計画通り推移しており、平成20年5月21日発表の第2四半期連結累計期間及び通期の業績予想に変更はありません。

4. その他

(1) 期中における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）
該当事項はありません。

(2) 簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用
一般債権の貸倒見積高の算定方法

当第1四半期連結会計期間末の貸倒実績率等が前連結会計年度末に算定したものと著しい変化がないと認められるため、前連結会計年度末の貸倒実績率等を使用して貸倒見積高を算定しております。

(3) 四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続き、表示方法等の変更
会計処理基準に関する事項の変更

重要な資産の評価基準及び評価方法の変更

たな卸資産については、従来、未成工事支出金については個別原価法、その他のたな卸資産については移動平均法による低価法によっておりましたが、当第1四半期連結会計期間より「棚卸資産の評価に関する会計基準」（企業会計基準委員会 企業会計基準第9号 平成18年7月5日）が適用されたことに伴い、未成工事支出金については個別原価法（収益性の低下による簿価切下げの方法）、その他のたな卸資産については移動平均法による原価法（収益性の低下による簿価切下げの方法）により算定しております。

この結果、従来の方法によった場合に比べて、営業利益、経常利益は24,648千円減少し、税金等調整前四半期純利益は79,662千円減少しております。なお、セグメント情報に与える影響は、当該箇所に記載しております。

追加情報

当第1四半期連結会計期間から、機械及び装置の耐用年数については法人税法の改正を契機として見直しを行い、一部の資産については耐用年数を変更して減価償却費を算定する方法に変更しております。この結果、従来の方法によった場合に比べて、営業利益、経常利益及び税金等調整前四半期純利益は4,296千円減少しております。なお、セグメント情報に与える影響については、当該箇所に記載しております。

5 【四半期連結財務諸表】

(1) 【四半期連結貸借対照表】

	当第1四半期連結会計期間末 (平成20年6月30日)	(単位：千円) 前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成20年3月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,559,828	1,962,452
受取手形及び売掛金	3,733,342	3,734,355
有価証券	8,770	8,761
製品	987,385	949,177
原材料	736,448	684,410
仕掛品	476,303	302,345
その他	534,500	419,189
貸倒引当金	△11,816	△11,678
流動資産合計	8,024,763	8,049,015
固定資産		
有形固定資産	1,697,924	1,737,898
無形固定資産	112,766	113,591
投資その他の資産		
投資有価証券	1,324,127	1,204,016
その他	502,671	548,300
貸倒引当金	△53,107	△53,182
投資その他の資産計	1,773,691	1,699,134
固定資産合計	3,584,382	3,550,623
資産合計	11,609,146	11,599,638

(単位：千円)

当第1四半期連結会計期間末
(平成20年6月30日)前連結会計年度末に係る
要約連結貸借対照表
(平成20年3月31日)

負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	2,424,325	2,521,714
短期借入金	680,000	680,000
未払法人税等	4,278	21,252
引当金	158,469	270,758
その他	577,207	413,828
流動負債合計	3,844,281	3,907,553
固定負債		
社債	400,000	400,000
退職給付引当金	545,432	539,513
役員退職慰労引当金	275,336	272,584
その他	161,660	158,090
固定負債合計	1,382,429	1,370,188
負債合計	5,226,710	5,277,741
純資産の部		
株主資本		
資本金	877,000	877,000
資本剰余金	415,892	413,208
利益剰余金	4,896,352	4,919,260
自己株式	△600,719	△602,803
株主資本合計	5,588,525	5,606,665
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	333,920	281,551
評価・換算差額等合計	333,920	281,551
少数株主持分	459,989	433,680
純資産合計	6,382,435	6,321,897
負債純資産合計	11,609,146	11,599,638

(2) 【四半期連結損益計算書】

		(単位：千円)
		当第1四半期連結累計期間
		(自平成20年4月1日 至平成20年6月30日)
売上高		2,141,950
売上原価		1,671,845
売上総利益		470,104
販売費及び一般管理費		
販売費及び一般管理費合計		388,643
営業利益		81,461
営業外収益		
受取利息		473
受取配当金		14,532
その他		2,625
営業外収益合計		17,630
営業外費用		
支払利息		2,755
その他		464
営業外費用合計		3,220
経常利益		95,871
特別利益		
投資有価証券売却益		16,288
その他		6,489
特別利益合計		22,777
特別損失		
たな卸資産評価損		55,013
その他		667
特別損失合計		55,681
税金等調整前四半期純利益		62,968
法人税、住民税及び事業税		11,686
法人税等調整額		18,448
法人税等合計		30,134
少数株主利益		19,627
四半期純利益		13,206

(3) 【四半期連結キャッシュ・フロー計算書】

(単位：千円)

	当第1四半期連結累計期間 (自 平成20年4月1日 至 平成20年6月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー	
税金等調整前四半期純利益	62,968
減価償却費	54,469
引当金の減少額	△102,981
受取利息及び受取配当金	△15,005
支払利息	2,755
売上債権の減少額	1,012
たな卸資産の増加額	△278,595
仕入債務の減少額	△97,388
前受金の増加額	166,861
未払金の減少額	△84,006
その他の営業収入	10,456
小計	△279,454
利息及び配当金の受取額	15,005
利息の支払額	△1,138
法人税等の支払額	△55,186
営業活動によるキャッシュ・フロー	△320,774
投資活動によるキャッシュ・フロー	
有形固定資産の取得による支出	△13,685
投資有価証券の取得による支出	△31,590
その他資産増減額	△6,722
投資活動によるキャッシュ・フロー	△51,997
財務活動によるキャッシュ・フロー	
配当金の支払額	△28,445
少数株主への配当金の支払額	△1,335
その他	△99
財務活動によるキャッシュ・フロー	△29,880
現金及び現金同等物に係る換算差額	24
現金及び現金同等物の増加額	△402,629
現金及び現金同等物の期首残高	1,943,951
現金及び現金同等物の四半期末残高	1,541,322

当連結会計年度より「四半期財務諸表に関する会計基準」（企業会計基準第12号）及び「四半期財務諸表に関する会計基準の適用指針」（企業会計基準適用指針第14号）を適用しております。また、「四半期連結財務諸表規則」に従い四半期連結財務諸表を作成しております。

(4) 継続企業の前提に関する注記

当第1四半期連結会計期間（自 平成20年4月1日 至 平成20年6月30日）

該当事項はありません。

(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

当第1四半期連結会計期間（自 平成20年4月1日 至 平成20年6月30日）

該当事項はありません。

「参考資料」

(要約) 前四半期連結損益計算書

(単位：千円)

科 目	前第1四半期連結累計期間 (自平成19年4月1日 至平成19年6月30日)
	金額
I 売上高	2,106,159
II 売上原価	1,684,085
売上総利益	422,074
III 販売費及び一般管理費	386,678
営業利益	35,395
IV 営業外収益	19,553
V 営業外費用	7,348
経常利益	47,600
VI 特別利益	9,300
VII 特別損失	1,081
税金等調整前 四半期(当期)純利益	55,819
税金費用	30,104
少数株主利益	3,066
四半期(当期)純利益	22,648

「参考資料」

(要約) 前四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成19年4月1日 至平成19年6月30日)
区分	金額
I 営業活動によるキャッシュ・フロー	
税金等調整前四半期(当期)純利益	55,819
減価償却費	48,113
退職給付引当金の増減額(減少：△)	17,379
貸倒引当金の増減額(減少：△)	△2,489
賞与引当金の増減額(減少：△)	△125,250
製品保証等引当金の増減額(減少：△)	2,710
受取利息及び受取配当金	△16,867
支払利息	4,817
固定資産除却損	1,008
売上債権の増減額(増加：△)	535,459
たな卸資産の増減額(増加：△)	△207,086
仕入債務の増減額(減少：△)	△78,884
その他	105,462
小計	340,192
利息及び配当金の受取額	16,867
利息の支払額	△7,748
法人税等の支払額	△204,691
営業活動によるキャッシュ・フロー	144,620
II 投資活動によるキャッシュ・フロー	
定期預金の預入による支出	△5,148
定期預金の払戻による収入	5,144
有形固定資産の取得による支出	△47,128
投資有価証券の取得による支出	△20,679
投資有価証券の売却による収入	65,041
貸付金回収による収入	3,124
その他	△11,463
投資活動によるキャッシュ・フロー	△11,109
III 財務活動によるキャッシュ・フロー	
短期借入金の純増減額(減少：△)	380,000
社債の償還による支出	△400,000
配当金の支払額	△27,831
その他	△1,757
財務活動によるキャッシュ・フロー	△49,588
IV 現金及び現金同等物に係る換算差額	21
V 現金及び現金同等物の増減額(減少：△)	83,943
VI 現金及び現金同等物の期首残高	1,376,973
VII 現金及び現金同等物の四半期末 (期末)残高	1,460,917